

授業参観 13:30~13:50

第3回 飯田小学校運営協議会

令和7年2月7日

13:50~15:00

家庭科室

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 議長の選出 <出席した委員の互選>

4 前回会議録確認

5 熟議 <司会：議長、記録：CSディレクター>

(1) 学校関係者評価（「いじめ防止等のための基本的な方針について」含む）

(2) 来年度の学校運営の基本方針の説明

(3) 学校運営協議会の自己評価

6 報告 <司会：教頭、記録：CSディレクター>

- ・学校支援コーディネーターから
- ・「いいだいなほ応援団」について
- ・夢育やらまいかCS加算分の報告

7 連絡

(1) 次年度第1回 令和7年5月13日（火）13:30~15:00 会場：家庭科室

(2) 会長・副会長・学校支援コーディネーターの確認

(3) 次回の議長の選出

(4) 次回の熟議内容の確認

閉会

参加者名簿

< 委員 >

会長	杉山 邦司	すぎやま くにじ
副会長	露木里江子	つゆき りえこ
委員	森 峯男	もり みねお
委員	小野 逸子	おの いつこ
委員	白井 竜之	しらい たつゆき
委員	鈴木美枝子	すずき みえこ
委員	荻野 裕貴	おぎの ゆうき
委員	鈴木 大輔	すずき だいすけ

< オブザーバー >

東部協働センター	神谷 匠	かみや たくみ
----------	------	---------

< 学校 >

校長	勝亦 英彦	かつまた ひでひこ
教頭	町田 全広	まちだ まさひろ
主幹教諭	森島 広人	もりしま ひろと
CS担当	小杉 香里	こすぎ かおり
CSディレクター	小林 知美	こばやし ともみ

< 教育委員会 >

教育総務課 指導主事	鈴木 陽子	すずき ようこ
------------	-------	---------

学校運営協議会 年間計画

R6年度	日 時	内 容
第1回	5月14日(火) 13:30~15:00	・学校運営の基本方針・いじめ防止対策基本方針 ・夢育やらまいか事業
第2回	10月28日(月) 13:30~15:00	・学校運営の課題と改善策 ・特色ある学校づくり ・支援策
第3回	2月7日(金) 13:30~15:00	・学校関係者評価 ・学校運営協議会自己評価 ・次年度学校運営の基本方針

R7年度予定 (諸事情により変更されることもありますので、その都度御連絡いたします。)

第1回	5月13日(火) 13:30~15:00	・学校運営の基本方針・いじめ防止基本方針 ・夢育やらまいか事業・今年度の目標・評価等
第2回	9月3日(水) 13:30~15:00	・前期学校評価結果と今後の取組 ・学校運営の課題と改善策、支援策等
第3回	11月21日(金) 13:30~15:00	・特色ある学校づくり ・支援策の振り返り、改善案等
第4回	2月5日(木) 13:30~15:00	・学校評価 ・学校運営協議会自己評価 ・次年度学校運営の基本方針

令和6年度 飯田小学校 学校評価報告書

I 令和6年度の本校の取組み

やさしい子

自分から学ぶ子

たくましい子

誰にでも笑顔で接し、優しく思いやりのある子
 ○コミュニケーション能力の育成
 ・思いを言葉で表現する指導
 ・「やはた行動」の定着
 ○思いやりの心の育成
 ・温かな人間関係づくり
 ・いじめ早期発見と解決
 ○規範意識の育成
 ・「飯田小学校の1日の学校生活」の定着
 ・道徳教育の充実

人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子
 ○「教育の情報化」の推進
 ・SNSノートはままつの活用
 ・教科指導におけるITC活用
 ○子供が夢中になる授業
 ・粘り強く考え、学びを深める子供の育成に向けた授業改善
 ・地域人材を活用した、将来に繋がる学び
 ○基礎基本の定着
 ・学習習慣作りの指導
 ・「粘り強く考える子の約束」

たくましい心と体を持ち、進んで頑張る子
 ○安全安心の学校生活
 ・校内事故を減減らす取り組み
 ・迅速な緊急対応
 ○夢を追う活動の推進
 ・「夢を追う先輩」について学ぶ機会の充実
 ・夢に関わる集会の充実
 ○自らを高める活動の推進
 ・自己記録の向上を目指す行事や活動の推進
 ・生涯スポーツの入り口として運動に親しむ体制づくり

II 自己評価

肯定評価の割合

令和5年度

			肯定評価の割合			令和5年度		
			児童	保護者	教員	児童	保護者	教員
やさしい子	1	あいさつの習慣が身に付いている。	83.9%	87.1%	58.1%	80.7%	88.6%	62.0%
	2	正しい言葉遣いで生活している。	82.4%	76.9%	54.8%	78.4%	75.2%	68.0%
	3	生命を大切に、思いやりをもって人に接している。	91.9%	96.5%	93.5%	91.1%	97.1%	93.0%
自ら学ぶ子	1	人の話をよく聴いたり、自分の意見や考えを話したりしている。	87.1%	81.8%	74.2%	84.3%	80.7%	84.0%
	2	授業を通して「わかった」「できた」「成長した」と感じている。	93.2%	85.9%	90.3%	86.2%	87.1%	96.0%
	3	学校で勉強したことが、自分の将来に役に立っていると考えている。	93.4%	73.9%	80.6%	88.8%	70.2%	87.0%
たくましい子	1	夢やめあてをもち、進んで活動に取り組んでいる。	93.4%	76.5%	96.8%	89.8%	71.5%	90.0%
	2	校内で安全に過ごしたり、交通ルールを守ったりしている。	96.1%	94.9%	71.0%	95.8%	95.4%	81.0%
	3	基本的な生活習慣や衛生習慣が身に付いている。	90.8%	90.6%	90.3%	86.4%	88.2%	90.0%

III 分析・考察

- 日々の生活の中で気持ちのよいあいさつができる児童が増えてきたが、さらに時と場に合ったあいさつができるようにしていきたい。また、「正しい言葉遣いで生活している」については、達成率が8割に届かない結果となり、正しい言葉遣いが意識できるように来年度は重点目標に掲げ、取り組んでいく必要がある。
- 「生命を大切に、思いやりをもって人に接している。」では、保護者は96%、児童も92%と高かった。これからも子供たちが安全に安心して生活ができる学校環境づくりやいじめの早期発見と解決を進め、笑顔で穏やかに接する子供が増えるよう支援に取り組んでいきたい。
- 「人の話をよく聴いたり、自分の意見や考えを話したりしている。」に関してもまだ改善が必要と思われる。来年度重点目標に掲げ、自分の考えをもち、伝え合いができるような学習や活動に取り組んでいく必要がある。
- 「夢やめあてをもち、進んで活動に取り組んでいる」が、昨年度よりは上がっているが、保護者の評価はまだ80%を下回る結果となった。保護者や地域の方に、学校での取り組みを広めていく必要がある。

IV 学校運営協議会における学校関係者評価

☆ 今後の改善方策

- 各教科の授業とキャリア教育との関連を深め、体験的な授業を行い、学びと実生活がつながるような取り組みを進める。
- いじめ基本方針については、HPの掲載の他に、PTA総会や懇談会等で保護者に確実に知らせる。
- CSを活用し、地域の大人ともっと触れ合う機会を増やしたり、保護者や地域の方にもっと学校に来ていただける機会を増やす。本校独自の「夢を飛ばそう集会」や「夢を語ろう集会」などを見て、子供たちの夢や活動等を分かってもらおう。



学校教育目標「夢に向かって 命をかがやかせる子」の育成に向けた 学校評価アンケート集約結果について

本校の学校評価は、7月と12月に、児童、保護者、教職員を対象に、学校教育目標のもと、観点を絞ってアンケートを実施しています。学校だよりには、児童、保護者のアンケート結果を掲載します。アンケート結果をもとに来年度の教育活動に取り組んでいきます。今後も飯田小学校の教育活動に御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

<本校の目指す子供像と重点目標>

やさしい子

誰にでも笑顔で接し、
優しく思いやりのある子

自分から学ぶ子

人の話をよく聴き、
粘り強く考え、学び合う子

たくましい子

たくましい心と体をもち、
進んで頑張る子

		質 問 内 容	児童	保護者
やさしい子	1	あいさつの習慣が身に付いている。	83.9%	87.1%
	2	正しい言葉遣いで生活している。	82.4%	76.9%
	3	生命を大切にし、思いやりをもって人に接している。	91.9%	96.5%
自ら学ぶ子	1	人の話をよく聴いたり、自分の意見や考えを話したりしている。	87.1%	81.8%
	2	授業を通して「わかった」「できた」「成長した」と感じている。	93.2%	85.9%
	3	学校で勉強したことが、自分の将来に役に立っていると考えている。	93.4%	73.9%
たくましい子	1	夢やめあてをもち、進んで活動に取り組んでいる。	93.4%	76.5%
	2	校内で安全に過ごしたり、交通ルールを守ったりしている。	96.1%	94.9%
	3	基本的な生活習慣や衛生習慣が身に付いている。	90.8%	90.6%
その他	1	飯田小学校は、安全で安心して過ごせる。 飯田小学校は、子供たちが安心して安全に過ごせる学校だと思う。	94.9%	96.1%
	2	飯田小学校には、何でも話せる友達や先生がいる。 飯田小学校には、子供たちが気持ちよく過ごしたり、活躍したりできる場所や場面がある。	95.7%	95.9%
	3	飯田小学校へ通うのが楽しい。 飯田小学校は、誇れる（信頼できる）学校である。	93.6%	95.7%

1 「誰にでも笑顔で接し、優しく、思いやりのある子」<感性>について

やさしい子の設問1のあいさつに関しては、日々の生活の中で気持ちのよいあいさつができる児童が増えてきましたが、さらに時と場に応じたあいさつができるようにしていきたいです。また、設問2の「正しい言葉遣いで生活している」につきまして

は、保護者は達成率が8割に届かない結果となりました。正しい言葉遣いが意識できるように来年度は重点目標に掲げ、取り組んでいきます。御家庭での声掛けもお願いいたします。設問3「生命を大切にし、思いやりをもって人に接している。」につきましては保護者は、96%を超える高い達成度となり、児童も92%いました。これからも、子供たちが安全に安心して生活できる学校環境づくりを進め、互いに笑顔で穏やかに接する子供が増えるように、子供たちの支援に取り組んでいきたいと考えています。

2 「人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子」〈知性〉について

自ら学ぶ子の設問1「人の話をよく聴いたり、自分の意見や考えを話したりしている。」に関してはまだ改善が必要と思われます。来年度重点目標に掲げ、自分の考えをもち、伝え合いができるように取り組んでいきます。設問2「授業を通して「わかった」「できた」「成長した」と感じている」、設問3「学校で勉強したことが、自分の将来の役に立つと考えている」につきましては、児童の達成度が高い結果となりました。保護者は、設問3の評価が8割に届かない結果でした。学習での振り返りを充実させ、「将来につながった」と実感できるように支援していきます。また、保護者にも振り返りを紹介できる手立てを講じていきたいと思えます。これからも粘り強く考え、学びを深める子供の育成を目指し、授業改善に向けて教材研究を進めてまいります。また、体験的な学習を取り入れたり、ICTを利用した学習の方法についても研究を進めたりしていきたいと考えています。

3 「たくましい心と体を持ち、進んでがんばる子」〈心身〉について

たくましい子の設問について児童は、すべて90%以上の達成度でした。一方保護者は、設問1「夢やめあてをもち、進んで活動に取り組んでいる」が、80%を下回る結果となりました。ほとんどの児童が、将来の夢や希望、目標をもって学習や運動に取り組んでいます。引き続き、子供たちのよさを見付け、認め励ましていきたいと思えます。御家庭でも、行事がある際には、ぜひお子さんに「めあては何？」とお尋ねいただき、励ましや助言をお願いします。

4 その他

すべての設問で、90%を上回る結果となりました。飯田小学校に通うすべての子供が学校生活が安全に安心して過ごし笑顔になれる学校、すべての保護者様が安心して送り出すことができる学校を目指して、今後も子供に寄り添っていきたく思います。

5 自由記述について

〈子供の頑張っている姿について〉

本年度のいいSPO！（いいだスポーツ・フェスティバル）では、「一人ひとりが一生懸命頑張っている姿を見ることができた。」や「代表リレーがあり、選ばれた子も応援する子もとても盛り上がっていた」などのお言葉をいただきました。来年度も、運動の得意不得意に関わらず、生涯に渡って運動に親しむことができる子供たちを目指して、計画・運営していきたいと思えます。

2月に行う参観会では、各学年会場は様々になりますが、1年間学習してきたことの

内容を発表する会（ミニ学習発表会）を考えています。詳細は学年だより等で御確認ください。学年で行うよりも子供が活躍する場面が増えると思われます。今後音楽的要素もそこに入れていこうと考えています。

日頃の学校生活や活動の様子などは飯田小学校のHP（ブログ）で掲載しています。ぜひ御覧ください。

URL とQRコードを掲載します。ぜひ、御覧ください。

飯田小HP URL : <https://www.city.hamamatsu-szo.ed.jp/iida-e/>

令和7年度の年間行事予定は、飯田小ホームページに掲載する予定です。

※あくまでも予定ですので、変更は考えられます。詳細は、毎月の行事予定・下校予定で御確認ください。



<体操服の着替えについて>

3年以上の女子については、空いている教室（スペース）を更衣室にして着替えをしています。男子は教室です。1・2年生については、教室の前後で男子と女子に分けて着替えをするようにしていきます。

<夏期のヘルメット着用について>

熱中症対策のため、来年度は6～9月は、帽子での登校を許可していこうと考えています。

その他、学校への応援メッセージを多数いただきました。心より感謝申し上げ、今後の励みといたします。

6 お知らせ

子供が欠席した際の次の日の予定を知らせるのに、御家庭と連絡がつきにくくなっている現状があります。そこで、欠席されたときは、時間割を見て、次の日の予定を御準備くださるようお願いいたします。時間割は、4月に各クラスごとに配布し、振り返りカードに綴ってあります。予定の変更や特別の持ち物がある場合は、さくら連絡網や電話等で担任より連絡します。

R 6 浜松市教育総合計画 実態調査より（いじめ関連）

教員	市全体 肯定的回答	飯田小 肯定的回答
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと指導している	99.8%	100%
学校のいじめ防止基本方針を理解し、それに沿って対応するよう心掛けている	99.6%	100%
道徳科の授業等で「はままつマナー」を活用して、命を大切にすることや規範意識について指導している	76.6%	100%
子供や保護者からのいじめ等の相談や気になる表れに対して、一人で抱え込まず、他の教職員と情報共有しながら対応している	99.4%	95.8%

6年生児童

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.2%	96.8%
いじめなど困ったことがあった時、先生に相談しやすいですか	70.1%	81.7%
先生はあなたのよいところをみとめてくれていると思いますか	91.1%	94.6%
相談した時に先生は真剣に話を聞いてくれますか	95.4%	97.8%

6年生保護者

いじめはどんな理由でもいけないことだと、お子さんに話をしていますか	98.7%	97.4%
学校のいじめ防止基本方針を知っていますか	58.0%	55.3%
学校のいじめ防止方針等の取組（いじめについて考える授業や集会・いじめアンケートなど）を知っていますか	58.0%	78.9%

今年度、本校におけるいじめ対応の取組は、学校HPにも掲載している「飯田小学校いじめ防止基本方針」に則って対応を進めて参りました。

未然防止策としましては、子供一人ひとりの居場所づくりとして、校内まなびの教室「キラホ」や相談したり、落ち着いたりするための場所「いるむ、いるむ2」を設置したりしています。また、安全安心な教室経営に努めてきました。

早期発見をするために、いじめアンケートを学期に1回実施してきました。（1、2学期は、はままついじめアンケート。）また、アンケート実施後には、悩み事の有無にかかわらず全員に話を聞き、心の状態を確認しました。

子供たちや保護者からの相談に対して教員が1人で抱え込まず、管理職への報連相を密にして対応してきました。その結果、重大事態に陥ったケースはありません。

令和7年度 浜松市立飯田小学校 グランドデザイン

国の教育振興基本計から
 ○2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
 ○日本社会に根差したウェルビーイングの向上

新学習指導要領から
 ○育成を目指す資質・能力の三つの柱
 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
 ○「令和の日本型学校教育」
 個別最適な学びと協働的な学びの実現

第4次浜松市教育総合計画から
【基本理念】描く夢や未来の実現
【目指すこどもの姿】
 ○自分らしさを大切にすることも
 ○他者と協働し、主体的に行動できることも
 ○自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

校訓 真誠 素直で誠実に生き、どこまでも真実を追い求める子

学校教育目標 **夢に向かって 共に命をかがやかせる子**

目指す子供像

重点目標

経営の基盤

感性

やさしい子

だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子

- ◎思いやりのある言動をすることができる。
- ◇きれいな学校3つの合言葉「きれいなあいさつ、きれいな言葉、きれいな心」の推進
- ◇いじめの未然防止、早期発見と迅速な対応
- ◎ルールを守って学校生活を送ることができる。
- ◇「飯田小1日の学校生活」の徹底
- ◇生活のめあてでの振り返り

知性

自分から学ぶ子

人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子

- ◎学習の基礎基本を身に付けることができる。
- ◇「粘り強く考える子の約束」の徹底
- ◇復習を定期的に行い、確実な定着を図る。
- ◎自分の考えをもち、伝えることができる。
- ◇ICTの活用
- ◇一人学びの時間の確保と深める学び合い
- ◎主体的に学ぶことができる。
- ◇見通しがもてる単元構想の工夫
- ◇将来に繋がる学びの設定（振り返りの充実）

心身

たくましい子

たくましい心と体を持ち進んでがんばる子

- ◎自分の目標に向かって運動に親しむことができる。
- ◇自己記録の向上を目指す行事や活動の推進（新体力テスト、いいSPO!、いいRUN!等）
- ◇運動の楽しさを味わえる体育科授業の充実
- ◎健康で安全な学校生活を送ることができる。
- ◇自分で命を守る安全教育の実施（避難訓練、防犯訓練等）
- ◇病気やケガの予防に対する取り組み（保健行事、委員会を中心に考えた活動）

全ての教育活動を通して、キャリア教育をベースに、夢を育む活動を推進する。
 「友達と関わる力」 「自分を見つめる力」 「問題を解決する力」 「夢に向かう力」

- ◎学校経営目標 「ていねい・あったか・安心」 ～すべては子供たちの笑顔のために～
- ◎目指す学校像
 - 子供が楽しく通える学校
 - 保護者や地域が誇れる(信頼できる)学校
 - 教職員が働く喜びのある学校
- ◎目指す教職員像
 - 子供の多様性を感じ取り、全ての子供に惜しみない愛情を注げる教職員
 - 人間味あふれ、子供や同僚、保護者・地域と良好な人間関係を築き、信頼される教職員
 - 子供と共に学び続け、専門職として魅力のある授業を実践する教職員

社会に開かれた教育課程・家庭地域との協働

飯田小学校PTA

学校運営協議会(CS)
『いいだいなほ応援団』

東部中学校区目指す子供像
「自分の夢や目標に挑戦し続ける。」

令和7年度 学校経営構想

浜松市立飯田小学校

《はじめに》

これから子供たちが生きていく未来は、予測困難な時代であり、VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代とも呼ばれています。学校では、そのような予測困難な社会の変化（少子高齢化、人口減少、グローバル化の進展、情報化・技術革新、Society5.0等）の中で、生きていくために必要な力を育むことが求められています。国、市の方針を受け、飯田小学校の子供たちの実態から考え、本校の学校経営方針を以下に示します。

1 新しい時代に求められる資質・能力とは

(1) 国の教育振興基本計画から

① 「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」

一人一人が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き「持続可能な社会の創り手」になることを目指す。

② 「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」

多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなること。

要素としては「幸福感」「学区や地域でのつながり」「協調性」「多様性の理解」「サポートを受けられる環境」「社会貢献度」「自己肯定感」「自己実現」「心身の健康」「安心・安全な環境」等が挙げられる。

(2) 新学習指導要領から

① 育成を目指す資質・能力の三つの柱

ア「何を理解しているか、何ができるか」（知識・技能）

イ「理解していること・できることをどう使うか」

（思考力・判断力・表現力等）

ウ「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」

（学びに向かう力・人間性等）

② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

○主体的な学び…学ぶことへの興味関心をもち、見通しをもって取り組み、学習活動を振り返って次へつなげる学び

○対話的な学び…協働や対話を通じて自己の考えを広げ深める学び

○深い学び……習得・活用・探求のプロセスの中で、知識を関連付けて深く理解することや、情報を精査して考えを形成すること、問題の発見と解決、思いや考えを基に創造することに向かう学び。深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要である。

③「令和の日本型学校教育」

誰一人取り残さず、全ての子供たちの可能性を引き出す、「個別最適な学びと協働的な学びの実現」としている。

○個別最適な学び…支援を要する子供への重点的な指導や個々の特性に応じた指導方法・教材等を提供・設定する「指導の個別化」と、各自の興味関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動・学習課題に取り組む機会の提供という「学習の個性化」の2つの視点から捉えることができる「個に応じた指導」を学習者の視点から整理したもの。

(3) 浜松の目指す教育（第4次浜松市教育総合計画から）

令和7年度から令和16年度まで

【基本理念】 描く夢や未来の実現

コンセプト：「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」

【目指すこどもの姿】

- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動することも
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

【3つ方針と5つの政策】（その下に25の施策）

- I 自分や浜松の未来を創る人づくり
 - ①未来の創り手に求められる力の育成
 - ②多様なニーズに対応した学びや支援の充実
- II 安全・安心で魅力のある環境づくり
 - ③「はままつの先生」の魅力と資質能力の向上
 - ④安全・安心に学べるより良い教育環境の整備
- III こどもの学びや育ちを支える連携・協働
 - ⑤多様な人材・主体との連携・協働

【目指す教職員の姿】

- こどもの自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

(4) 「今と将来をつなぐ」「自分と社会をつなぐ」キャリア教育の推進

○「4つの育てたい態度・能力」を押さえた指導

	育てたい態度・能力 (基礎的・汎用的能力)	育てたい力の具体的な要素の例 (文部科学省 手引きより)
友だち	友達と関わる力 (人間関係形成・社会形成能力)	他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーション・スキル、チームワーク、リーダーシップ
じぶん	自分を見つめる力 (自己理解・自己管理能力)	自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動

かいけつ 問題を解決する力 (課題対応能力)	情報の理解・選択・処理等、本質の理解、原因の追究、課題発見、計画立案、実行力、評価・改善
ゆめ 夢に向かう力 (キャリアプランニング能力)	学ぶこと・働くことの意義や役割の理解、多様性の理解、将来設計、選択、行動と改善

2 学校経営方針

(1) 校訓 「真誠」(素直で誠実に生き、どこまでも真実を追い求める子)

(2) 学校教育目標 **夢に向かって 共に命をかがやかせる子**

飯田小学校では、本校の卒業生であり、国産旅客機第一号を製作した福長浅雄氏の生き方をモデルにした「夢を育む活動」を平成9年度より行ってきた。以来、飯田小の子供たちは、夢や希望を持ち、その実現に向かって努力することの素晴らしさを理解し、実践するようになっていく。

「夢に向かって命をかがやかせる」とは、近い将来・遠い将来に、なりたい自分を思い描き、将来につながる今現在の自分を見つめ、将来の自分を実現するために今なすべきことを、こつこつと実践し積み重ねることである。

加えて、「共に」とは、自分の成長に関わったすべての人に感謝の気持ちをもつことや、自分と違う友達の考えや感じ方を大切にし、相手はどう思っているのかなと思いやること、自分の周りにいる友達の良さを見つけ認めることで、「友達の命もかがやかせる」ことにつながることも考える。

(3) 飯田小学校児童の実態

※教職員、学校運営協議会のSWOT分析より

○やさしい子【感性】

- ・全体に素直で前向きである。友達と仲良く遊ぶことができる子が多い。
- ・進んで友達や地域の方に挨拶をしたり、挨拶を返したりすることに苦手意識を持つ子がいる。
- ・自分の思いを伝えること、正しい言葉遣いで話すことに課題がある。
- ・協力したり、思いやりのある行動ができたりする子が増えてきた。

○自分から学ぶ子【知性】

- ・自分の仕事や役割で責任を果たすことができるが、主体性に欠け、指示待ちの子が多い。
- ・自ら課題を見付け、自分で解決しようとする力が十分でない。
- ・人の話を最後まで正しい姿勢で聞くことが苦手である。
- ・忘れ物が多い。

○たくましい子【心身】

- ・夢や希望を持ち、その実現に向かって努力することの素晴らしさを理解し、実践するようになってきている。
- ・校内で安全に過ごす等の規範意識が薄い。

(4) 飯田小学校を取り巻く地域の特性

学区は、市の南東部に位置し、東西に飯田街道、南北に国道1号線が走り、通勤時間帯には、車両の大渋滞が発生し、それらを回避するため、隣接する生活道路や通学路にも多くの車両が行き来する。令和5年には、市による「ゾーン30プラス」の推進地域に認定され、市内初となるスムーズ横断歩道が設置される等、地域住民による交通安全意識が高まってきている。

国道1号線の東側には、中央卸売市場や飯田公園がある。西側には、住宅密集地が目立つようになってきた。古くから田園地帯として発展してきた地域であるが、近年は学区西側に住宅地が増え、人口の流入がみられる。

保護者及び地域住民の学校教育に対する期待は大きく、学校に対しても協力的である。PTA活動の中心に米作りがあり、年間を通して学校、家庭、地域が一体となって子供を育てて行こうとする機運がみられる。

(5) 目指す子供像

豊かな感性と知性、たくましい心と体を持ち合わせた調和のとれた子供を育てていくこととする。

- やさしい子【感性】 だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子
- 自分から学ぶ子【知性】 人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子
- たくましい子【心身】 たくましい心と体を持ち、進んでがんばる子

(6) 学校経営の重点及びその具体的方策

- ※全ての教育活動を通して、キャリア教育をベースに、夢を育む活動を推進する。
- ※子供が「目標を持って」「意味や価値を意識して」活動に取り組む。
- ※自己の取り組みを振り返り、成果を自覚する。(アンケートの評価項目を吟味)
- ◆やさしい子【感性】 だれにでも笑顔で接し、やさしく、思いやりのある子

重点目標	具体的方策(何を、どうする等)
◎思いやりのある言動をすることができる。	・ きれいな学校3つの合言葉「きれいなあいさつ、きれいな言葉、きれいな心」の推進 (きらきらあいさつ賞での称揚、優しい言葉遣いの具体の紹介、マナーの日の活用等) ・ いじめの未然防止、早期発見と迅速な対応
◎ルールを守って学校生活を送ることができる。	・ 「飯田小1日の学校生活」の徹底 ・ 生活のめあてでの振り返り

- コミュニケーション能力の基本を育てる
 - ・ 時と場に応じた気持ちの良いあいさつ。いつでも、どこでも、だれにでも
 - ・ あいさつのよさや意義を学級で話し合う。
 - ・ 思いを言葉で表現する指導(「やはた行動」の定着)
- あらゆる他者を価値ある存在と気づかせる。温かな人間関係づくり。
 - ・ 場に応じた言葉遣い(友達の良さを認める 多様性 包摂性)
 - ・ 道徳教育の充実

- 清掃活動における黙働を意識する。
- 自分で考えて行動できる。（自己肯定感を高める 達成感 自己有用感）
- 子供の居場所づくり（キラホ、いるむ）

◆自分から学ぶ子【知性】 人の話をよく聴き、粘り強く考え、学び合う子

重点目標	具体的方策（何を、どうする等）
◎学習の基礎基本を身に付けることができる。	・「粘り強く考える子の約束」の徹底 ・復習を定期的に行い、確実な定着を図る
◎自分の考えをもち、伝えることができる。	・ICTの活用 ・一人学びの時間の確保と深める学び合い（交流の場の設定、聞き方・話し方の確認）
◎主体的に学ぶことができる。	・見通しがもてる単元構想の工夫 ・将来に繋がる学びの設定（振り返りの充実）

- 中学年からの教科担任制の導入（できる範囲で）
- 様々な人とのかかわりを（交流）
- 子供が夢中になる授業
 - ・粘り強く考え、学びを深める子供の育成に向けた授業改善
 - ・地域人材を活用した、協働的な学び

◆たくましい子【心身】 たくましい心と体を持ち、進んでがんばる子

重点目標 （子供が主語の文章表記）	具体的方策（何を、どうする等） （体言止めで構わない）
◎自分の目標に向かって運動に親しむことができる。	・自己記録の向上を目指す行事や活動の推進（新体力テスト、いいRUN!、いいSP0!等） ・運動の楽しさを味わえる体育科授業の充実
◎健康で安全な学校生活を送ることができる。	・自分で命を守る安全教育の実施（避難訓練、防犯訓練、引き渡し等） ・病気やケガの予防に対する取り組み（保健行事・委員会を中心に考えた活動）

※例：体育イベント、生活安全タートルゾーン、食育イベント

- 交通事故0をめざす。
- 校内事故件数を減らす。
- 部活動がなくなり、より体育科での体力づくりが重要である。
- 豊かなスポーツライフ実現に向けた取り組み

3 経営の基盤

- (1) 学校経営目標 「ていねい・あったか・安心」
～すべては子供たちの笑顔のために～

(2) 目指す学校像

- 子供が楽しく通える学校
 - ・楽しくわかる授業
(個別最適な学び、協働的な学びに向けたていねいな見取り)
※タブレットの活用
 - ・すべての子供が認められる学級(所属感のもてるあたたかい学級)
※キラホ(校内まなびの教室)、いるむ、いるむ2等の教室の積極的な活用
 - ・いじめ見逃しのない教室(安心できる学級)
※「飯田小いじめ防止基本方針」を推進(重大事態にさせない)
- 保護者や地域が誇れる(信頼できる)学校
 - ・スピード感のあるニーズに応じた対応(相談にはていねいに対応)
 - ・協働して作り上げる学校(人づくりにあたたかく支援)
※地域や保護者が学校運営に参画するコミュニティ・スクールを推進
 - ・子供のことを一番に考えた危機管理(安心できる対応)
※夏季の熱中症対策(帽子での登校6月~9月)
- 教職員が働く喜びのある学校
 - ・ボトムアップで働き方改革(子供をていねいに見取れる時間を作り出す)
※教職員の時間外在校時間を月30時間以内(年間360時間以内)
 - ・心理的安全性を向上させ、チームで対応(相談しやすいあたたかな職場)
 - ・達成感、自己有用感のもてる役割(認めてもらえる安心できる職場)

(3) 目指す教職員像

- 子供の多様性を感じ取り、全ての子供に惜しみない愛情を注げる教職員
 - ・子供理解　・子供の可能性を引き出す
- 人間味あふれ、子供や同僚、保護者・地域と良好な人間関係を築き、信頼される教職員
 - ・責任を果たす　・規範意識　・とことん寄り添う
- 子供と共に学び続け、専門職として魅力のある授業を実践する教職員
 - ・ファシリテーション力　・子供を飽きさせない　・主体性　・情熱

4 令和7年度学校経営上の具体的課題

(1) 家庭・地域との協働

- コミュニティ・スクールの推進と活用
 - ・授業をはじめ様々な教育活動に地域の人材、教育力を一層活用する。
 - ・学校の安心安全を守り、学習環境を整えるために地域人材を一層活用する。
 - ・情報を公開し、家庭・地域と成果や課題を共有する。
 - ・家庭・地域に開かれ、愛され、期待される学校(社会に開かれた教育課程)
- 【いっだいなほ応援団】
- 〈学習サポート〉家庭科ミシン補助、図工、書写、生活、算数(検定)
 - 〈安全サポート〉校外学習引率、水泳観察員
 - 〈環境サポート〉水かけ、あいさつ

〈図書サポート〉読書週間読み聞かせ
〈ゲスト講師サポート〉夢を語ろう集会の講師探し 等

(2) 全ての教育活動を通して、キャリア教育をベースに、夢を育む活動の推進。

- 本校でつけたい基礎的・汎用的能力の育成の周知
(つながりを実感)
- キャリア教育の年間計画に載せている行事のねらいの明示や学習での取り組み
- PDCAサイクルで評価していく。

(3) 教育の情報化に向けて校内体制づくりと環境整備の推進

- 教育の情報化推進 (chromebook を積極的に活用、研修会参加等)
- 持ち帰り (家庭学習、予定も含めて検討)

(4) 発達支援教育の充実

- 一人一人を大切に、発達支援コーディネータを中心に、全職員が協力して支援が必要な子供の指導を計画的、組織的、継続的に行っていく。
- 不登校児の増加等に伴い、外部機関との連携及びケース会議を通して、保護者の立場に立って、的確な支援が出来るようにしていく。
- 発達支援教室 (すくすく) の効果的活用

い だ しょう い ち に ち が っ こ う せ い か つ れ い わ ね ん ど
飯田小一日の学校生活（令和7年度）

1 とうげこう 安全に 登下校をしよう。」

・ 8時までに登校します。
・ ヘルメットを着用して、登下校します。
・ 通学路を歩いて安全に登下校します。
・ 登下校は昇降口から出入りします。（ドリームロードや通路は使いません。）
・ 特別の用事がなければ、最終授業または振り返りの会の終了後、すぐに下校します。
・ できるだけ一人で下校しないで、友達といっしょに下校します。
◎ 困ったときには「こども110番の家」や防犯パトロール（地域の方々）に助けを求めます。



2 がっこうない 学校内 「きまりを守って、楽しく生活しよう。」

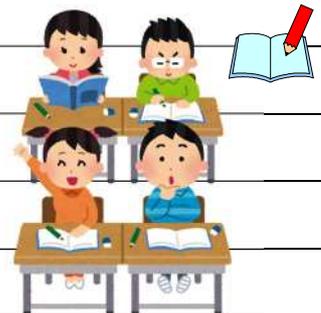
(1) 朝（あさ）

◎ かかとをそろえて、靴を入れます。
・ 雨の日は、傘をきちんと巻いて、向きをそろえて入れます。
◎ 朝、教室などに入るとき、気持ちのよい「おはようございます」を言います。
・ 朝は、中庭の遊具が使えません。
・ きめられた提出物は、きちんと出します。
・ 活動に合った服装や清潔な身なりをします。
・ 校内では名札を付けます。
・ 忘れ物をして、家に取りに戻りません。（交通事故の防止のため）
◎ 自分の身の周りの整理整頓に心掛けます。



(2) 学習（がくしゅう）

・ 授業が始まる1分前には、席に着きます。（1分前着席）
・ 学校生活に必要なでない物は、持ってきません。
◎ 持ち物には、必ず名前を書きます。
・ 時間になったら、席に着いて学習を始めます。
・ 友達の名前を呼ぶときは、「〇〇さん」付けをします。
・ 絵の具や墨の片付けは、一斉に流しを使えないことから家に持ち帰りましょう。



(3) 休み時間 (やすみじかん)

<ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習の準備をします。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員室に入るときは、「失礼します。職員室の先生方こんにちは。〇年〇組の〇〇(名前)です。(用件を伝える)」と言ってから入ります。
<ul style="list-style-type: none"> ◎お客様や先生に会ったら、自分から「こんにちは。」と言ったり会釈したりします。
<ul style="list-style-type: none"> ◎雨の日は、読書をしたり遊びを工夫したりして教室で安全に過ごします。
<ul style="list-style-type: none"> ・小運動場や中庭付近では、ボール遊びをしません。 (せまい場所で、他の子に当たってけがをすることを防ぐためです。)
<ul style="list-style-type: none"> ・中庭では、歩いて活動します。(走ると遊具や飛び石で転んでけがをします。)
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場や屋外の体育器具庫裏などでは遊びません。 (車が出入りするため、危ないです。)



(4) 給食 (きゅうしょく)

<ul style="list-style-type: none"> ・時間ときまりを守って、配膳、食事、片付けをします。
<ul style="list-style-type: none"> ◎好き嫌いをなくし、バランスのよい食事をとります。



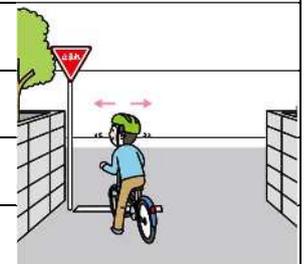
(5) 清掃 (せいそう)

<ul style="list-style-type: none"> ・協力して、一生懸命清掃を行います。
--



3 放課後 (ほうかご)

<ul style="list-style-type: none"> ◎外出するときは、家の人に<u>行き先</u>、<u>帰る時刻</u>、<u>いっしょに遊ぶ友達</u>を伝えてから出かけます。(家の人同士も電話などで、連絡が取り合えるようにしておきましょう。)
<ul style="list-style-type: none"> ◎放課後、遊ぶときには、春・夏は、5時30分までに、秋・冬は日没までには家に帰ります。
<ul style="list-style-type: none"> ◎学校の敷地内は、自転車に乗りません。自転車をきれいに整頓し、駐車します。
<ul style="list-style-type: none"> ◎自転車に乗るときには、必ずヘルメットをかぶります。
<ul style="list-style-type: none"> ◎国道1号線を横断するときは、必ず地下道を通ります。
<ul style="list-style-type: none"> ◎飯田街道や国道1号線では、自転車に乗りません。
<ul style="list-style-type: none"> ◎学校に遊びに来たときは、飲食禁止です。
<ul style="list-style-type: none"> ◎放課後、用事がある場合に入るときには、まずはじめに職員室へ寄ります。

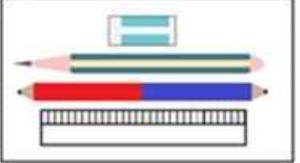


『◎』は、家庭でも実践できる内容です。家庭でもしっかり取り組みましょう。

※ 今後も、児童とともに、見直しを継続的にしていきます。

がくしゅう きそきほん み
 学習の基礎基本を身に付けよう

ねば やく そく
 「粘り強く考える子」の 約 束 (3・4年生)

学習場面	身に付けたい基礎・基本	
学習のはじまり	○机の上に、教科書、ノート、下じき、消しゴム、 鉛筆、赤青鉛筆、定規をきちんと用意する。 ○あいさつ「始めましょう。」	
学習のめあて	○ノートに月日を書く。 ○今日の学習のめあてを書き、赤で囲む。	
聞 く	聞き方名人 ① 相手に体を向けて ② うなずいて ③ 終わりまでしっかり ・大切な言葉を落とさずに ・自分の考えと比べながら ④ わからないところは質問を ・いつ ・どこで ・だれが ・なんのために ・なぜ	
話 す	話し方名人 ① 指名されたら「はい」と返事をする。 ② 最後まではっきりと ③ 場面に合った声の大きさと ④ 考えを言ってから理由を話す ⑤ 友達の発言とつなげて話す ・友達の考えにつけ足す ・友達の考えと比べる (にている、ちがう)	話し方の例 「〇〇だと思います。なぜかというと …だからです。」 「〇〇さんとちがって、…です。」 「〇〇さんに付け足して、…です。」 「〇〇さんの考えは…ということですか。」など
読 む	○背筋を伸ばして、教科書をしっかり持って読む。 ○読点(、)や句点(。.)に気を付けてはっきり読む。	
書 く	○姿勢を正して、一画一画丁寧に書く。 ○習った漢字を進んで使って書く。	
学習のまとめ ふり返り	○今日の学習のまとめを書き、青で囲む。(めあてに対する答え) ○今日の学習のふり返りを書く。 (自分の学習の取り組み方についてや、これからやってみみたいことなど)	
学習の終わり	○あいさつ「終わりました。」 ○机の上をきちんと片付け、次の学習の準備をする。	

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(飯田小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・ コロナ後、まずは地域の大人たちから明るい笑顔、元気な挨拶を行い、子供たちにとって、地域に知っている顔がたくさんあること、安心して生活できることを定着させたい。
- ・ 実際にどのような活動ができるのか、具体的な内容や役割等考えるところまで進めていきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 学校教育目標「夢に向かって命をかがやかせる子」を念頭に学校評価アンケート集約結果を考察した。児童・保護者・教員の回答を分析し、評価が上がっていることを確認した。課題も分かり、今後の方向性について考えることができた。
- ・ 社会生活の中で「あいさつ」は大切なこと。どのような状況でも自分から進んで挨拶ができる子供が育つように考えていきたい。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・ SWOT分析を通し、児童・保護者・地域・当協議会の現状・長所・短所・課題点について意見を出し合った。学校・家庭・地域に、子供たちが安全・安心で居心地の良い居場所ができ、笑顔あふれる環境ができるよう、長期間に渡り見守りを続けたい。
- ・ 今後、どのように保護者や地域の人材を活用していくのか具体的に示されてきたが実際にどの程度活動ができるのかを見極めながら方策を考えていく必要がある。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ ホームページ等での情報発信はしているが、協議内容について、PTAや自治会にさらに情報が広まるよう工夫していきたい。
- ・ 浜松市の見守りボランティアの話を再度伺ったので、地域や民生委員等の会合においても流布していきたいと思う。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・ 実際に地域や保護者の人材を活用して支援活動を実行に移すことができるように、協議会で支援の具体策について熟議を深めていきたい。